

2025 年度 学校経営計画及び学校評価

Ⅰ めざす学校像

- 「学力を向上させ、豊かな心を育み、学校の素晴らしさを思う存分体感させる」
- 高校教育への多様なニーズを受け止め、一人ひとりが自分のペースに合わせて学習できる学校
- 1

通信制という学びのスタイルを通して柔軟な学習システムを提供する。
- 2

人権を尊重し、生徒一人ひとりが責任を持ち、支え合い、安心して学べる環境を構築する。
- 3

「確かな学力」を定着させ、自立できる人間力を育て、広く社会に貢献できる人材を育成する。

2 中期的目標

- 1

通信制で学ぶ生徒の変化に対応する教育システムの確立

(1)

生徒実態の把握（学力、生活、健康）

(2)

新しい学習指導要領に沿った教育システムの改革を推進する

(3)

生徒の実態やニーズを見据えた学校体制の見直し

ア

在学生及び卒業生の実態やニーズを検証して各コースの教育内容に反映

イ

大阪府教育庁、大阪私立中学校高等学校連合会及び大阪通信制高校グループとの連携による通信制高校の機能強化についての検討

* 人権教育研究会、進路指導研究会、保健・衛生管理委員会、いじめ防止対策委員会、防犯・防災管理委員会、学校評価委員会、広報委員会、ほか学校運営に関する活動、各種課題解決に向けての実動及び連携で高位の評価を目指す。

* 生徒指導、学習指導、進路指導を俯瞰的に検証し校内運営強化に反映。

* 教育振興基本計画、大阪府私学課の方針に基づいた通信制の機能強化について、関係団体との協議および校内検討による整備の継続。
- 2

「社会を生き抜く力」の育成とその実現に向けた教職員の資質向上

(1)

基礎的・基本的な学力の定着をめざした教育課程の検討・編成

ア

各教科・科目の基礎的内容を分かりやすく学習できる科目開設の検討と展開

イ

一人ひとりの生徒に応じた指導の検討

(2)

全ての科目における生徒実態に見合ったレポート、スクーリング内容の検討と改善

ア

一人で取り組める理解しやすいレポートの作成

イ

生徒の理解度に合わせたスクーリングの展開

ウ

研究・公開スクーリングの実施

(3)

生徒の状況に合わせた多様な学習スタイルについて

ア

基礎学力不足の生徒に対する学習支援策の強化

イ

スクーリングに出席できない生徒等のサポート体制、教育システム（スタイル）の研究、試行、実施

ウ

進学希望者に対する学習支援、就職希望者への各種支援の検討・確立

(4)

教職員研修の充実

* 生徒向け学校教育自己診断におけるレポート、スクーリングに関する肯定的評価の向上をめざす。肯定的評価の過半数を目指す。

* 生徒向け学校教育自己診断における授業のわかりやすさの向上をめざす。肯定的評価の過半数を目指す。
- 3

生徒支援と相談体制の強化・充実

(1)

生徒及び保護者との面談・懇談や相談会の実施

(2)

学力、生活態度をはじめとする生徒情報の収集と共有

(3)

人権等に対する理解を深めるための勉強会や研修会の実施

(4)

校内における正確な生徒の状況把握に基づく危機管理体制の強化及び情報伝達環境の整備

(5)

保護者との連携、福祉等の機関との連携
- 4

卒業後の進路を見据えた進路指導の充実

(1)

生徒の実態に応じたソーシャルスキル教育及びキャリア教育の検討・実施

(2)

進学希望者、就職希望者に対する支援対策の充実

(3)

ハローワーク、進路研究会など外部の社会資源を活用した幅広いキャリア指導。

(4)

進路先との関係を強化、卒業生の状況を把握して進路指導へフィードバック。

(5)

高大接続、入試改革における的確な情報提供を行い外部との連携と校内の体系的な支援。
- 5

情報発信・広報活動の充実

(1)

情報発信の充実

H P、SLM システムの導入・発送物等による定期的な情報発信

(2)

広報活動の充実

ア

学校説明会、オープンスクールの充実

イ

学校説明と見学会の随時実施

（５）学習成果	５	４	３	２	１
①進学率や就職率の向上は図られているか。	30.8%	15.4%	46.2%	7.6%	0%
②退学率の低減が図られているか。	15.4%	15.4%	38.5%	30.7%	0%
③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	15.4%	30.8%	38.4%	15.4%	0%

分析
昨年度のアシストコースは希望進路に進むことができた生徒が多かった。
今年度も②の退学率の低減に関しては、教員の生徒への個別対応により良い評価を得ることができた。

（６）教育環境	５	４	３	２	１
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	15.4%	23.1%	30.8%	23%	7.7%
②公的支援制度を含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか。	23.1%	15.4%	46.2%	7.6%	7.7%
③防災に対する体制は整備されているか。	15.4%	23.1%	46.1%	15.4%	0%

分析
③の防災に対する体制に関しては、避難経路の見直し、教員への周知徹底により高い評価となった。

（７）生徒の受け入れ募集	５	４	３	２	１
①生徒募集活動は、適切に行われているか。	15.4%	38.4%	23.1%	23.1%	0%
②生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	15.4%	38.5%	38.5%	7.6%	0%
③学納金は妥当なものとなっているか。	23.1%	7.6%	38.5%	23.1%	7.7%

分析
オープンスクールや相談会を実施したことにより、高い水準の評価となっている。
引き続き適切な募集活動を継続する。

（８）法令遵守	５	４	３	２	１
①関係法令及び設置基準などの法令遵守と適切な運営がなされているか。	23.1%	38.5%	23.1%	7.6%	7.7%
②個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	23.1%	30.8%	23.1%	15.3%	7.7%

分析
高い評価となっており、今後も維持、促進を考える。

（９）社会貢献・地域貢献	５	４	３	２	１
①教職員・生徒に対し、社会問題に対する問題意識の醸成に取り組んでいるか。	15.4%	7.7%	61.5%	0%	15.4%
②ボランティア活動などを通じて社会・地域に貢献しているか。	23.1%	23.1%	46.1%	0%	7.7%

分析
高い評価となっており、現在取り組んでいるボランティア活動、赤い羽根募金活動等の交流活動を継続していき、社会貢献・地域貢献に繋げていきたい。

◎まとめ
・本校の教育方針の実現に向け、教員、生徒、保護者との密な連携を図り、生徒保護者に、より満足してもらえるように一人ひとりを大切に、きめ細かい対応を心がけより良い教育の機会を提供していきたい。
・進路指導に関しては、生徒の進路への関心が高まってきているため、早期に対策をしていき、進学率・就職率を向上させていくための情報提供の場を増やしていきたい。

（５）学習成果				
５	４	３	２	１
0%	67%	33%	0%	0%

〈委員〉
・アシストコースの授業内容を考えて欲しい。

（学校）
・個々の生徒の学力に合った授業を行っていきたい。

（６）教育環境				
５	４	３	２	１
6%	55%	33%	6%	0%

〈委員〉
・生徒たちの憩いの場となるようなスペースを考えて頂きたい。
（学校）
・本館、新館共に生徒が集まる場所としてラウンジがあり、ラウンジを色々な面で充実させていきたい。

（７）生徒の受け入れ募集				
５	４	３	２	１
0%	67%	33%	0%	0%

〈委員〉
・正當に評価されている。

（学校）
・今後も学校訪問、オープンスクールなどで本校の情報を発信し、適切な生徒募集活動を続けていく。

（８）法令遵守				
５	４	３	２	１
0%	83%	17%	0%	0%

〈委員〉
・正當に評価されている。
（学校）
・今後も法令順守に努める。

（９）社会貢献・地域貢献				
５	４	３	２	１
0%	58%	42%	0%	0%

〈委員〉
・特別活動のボランティア活動だけでなく、地域が主催するボランティア活動に参加していることなど続けて欲しい。
（学校）
・今後も地域に貢献出来るように活動の継続を考えていきたい。

◎まとめ
〈委員〉
・ゆっくりでも成長しているのがわかる瞬間が楽しい。
・家庭訪問の機会を入学前や学期の節目に増やしてほしいと思う。

〈学校〉
・学校関係者評価で頂いた評価を参考に、生徒一人ひとりへの手厚いサポート、生徒・保護者の方に満足してもらえる教育活動など充実させていきたい。